

ことら議会だより

2020年8月1日発行 第65号

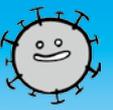


トピックス

- コロナ議会 P 2～
- 一般質問 P 8～
- 特集 議会アンケート P 18～

ほしとけけん
星取県
いっこうがた
琴浦町一向平キャンプ場から
天の川を望む





新型コロナ禍対策

4月22日臨時会

臨時会が

22日開かれ、町介護保険条例の一部改正など7件の専決処分や、本年度一般会計補正予算など9議案を原案通り承認、可決した。補正予算は新型コロナウイルス感染症対策事業費や特別定額給付金の17億6535万円が追加され、総額は120億9535万円。

議案第60号
「令和2年度琴浦町一般会計補正予算（第1号）」

賛成	反対
12	1
欠1	

「飲食業と宿泊業だけ」という妥当性

高塚議員

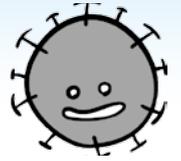
(反対) 主な予算はコロナ対策による飲食店と宿泊業の支援である。それには大賛成である。なぜ飲食業と宿泊業だけなのか。もう少し内容を検討する必要があると思う。

桑本賢議員

(賛成) 現在ワクチンがないので、現状では感染源から離れるということが一番大事だ。外出禁止がかかってきている。私も現在、鶏の検査をやっているが、急に鶏が3分の2しか出荷されなくなった。今取り得る町の対策としては、臨機応変にお金を流して行くことが大事。

押本議員

(賛成) 小売業、さらに飲食業は流通の最後の末端である。したがって、それだけに資金力、経営力、基礎体力が非常に弱い。この10万円を毎日の営業の利益の中から生み出すというのは、10万円を売り上げたらそれで済むというものじゃない。営業の中で資金を作っていくのにそれが停止させられる。だから休業補償が要る。緊急性が高い。必要な予算である。



5月29日臨時会

臨時

会が29日開かれ、町税条例の一部改正など専決処分と本年度一般会計補正予算の3議案を原案通り承認、可決した。補正予算は、新型コロナウイルス感染症緊急対策として、国の特別定額給付金の対象外となる4月28日以降に生まれる子どもへの商品券支給をはじめ、町出身で自宅外から通学する学生に3千円相当の町産品を送る応援事業など1億4759万円が追加され、総額は122億6668万円。

すべて全会一致！
特別定額給付金（10万円）の
議決は県内最初！



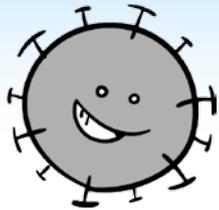
おなかの赤ちゃんにも



町外学生に「エール便」



に毎月議会審議



6月定例会 (6月9日～19日)

6月定例会は

19日最終日、本年度一般会計補正予算案や農業委員会の委員の任命など31議案と追加議案1議案、議員提出3議案をいずれも原案通り可決、同意した。追加された町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の一部改正は、4月以降一人当たりの税率を12%上げることを3月議会でも可決したが、新型コロナウイルスの影響を考慮して来年に先送りし、本年度は従前どおりの税率にする改正。

懲罰特別委員会報告

議長に対する懲罰について……懲罰なし

P7参照

発言内容の時と場所が懲罰に値するか否か

賛成

8

反対

5

除斥1

井木議員

(反対) 委員長報告があったわけだが、説明も意見も聞いてない状態で、この議長に対する懲罰はしないという結論を出した。これでは、私としても納得できるものではない。やはりきっちりとした形で、全員に分かるように説明をするのが当たり前だと思うので、この委員長報告には反対。

新藤議員

(賛成) 今回の件は休憩中の発言だったので、正式な議事録には残っていない。また、個人の問題に立ち入る発言としては立証ができない。私生活にわたる言動が一部あったとしても、3月18日の全員協議会で陳謝をしている。よって、この件は懲罰に値しない。

青亀議員

(反対) 今回の事件は133条の適用、135条の適用の問題も含めて、重大な誤りもあり、一回、懲罰特別委員会に差し戻して、原点から議論をすることが適当であると思う。よって、懲罰を科さないということについては反対。

桑本始議員

(賛成) 3月18日の全員協議会の会議録が委員会で配布された。その中の発言が職務上の権限を超えているとか、個人の問題に立ち入った発言であると断定するには至らなかった。

高塚議員

(反対) 委員会条例第7条には、委員は議長が会議に諮って指名するとある。外部の団体の意向によって委員会配属を決めることは条例違反である。懲罰に値するのは当然である。

2年陳情第5号 「地方財政の充実・強化を求める陳情」

賛成 13 反対 1

議員提出議案第6号 「地方財政の充実・強化を求める 意見書の提出について」

コロナ禍に見るトップランナー方式の是非

賛成 12 反対 2

高塚議員

(反対) 陳情内容は「地方交付税における業務改革の取組等の成果を反映した算定(従来のトップランナー方式)は、地域の実情を無視し、本来交付税に求められる財源保障機能を損なう算定方式であるから、その廃止・縮小を検討」とある。先進的なところを基準にして効率が上がって経費も安くあがっているところを基準に、交付税を算定するというトップランナー方式は結構なことだと思う。

押本議員

(賛成) 確かに経営効率は考えなければならないが、トップランナー方式という効率最優先で、今回のコロナで明らかになった医療崩壊の大元だ。そもそも公共の社会的共通資本にあたるどころの医療であるとか教育であるとかを効率のみで選択と集中でやった結果、医療に関して見られたとおり崩壊だ。このコロナ禍によって新自由主義の政策の破綻は明らかだ。

青亀議員

(賛成) いま世界は新型コロナウイルスの関係で、政治のあり方、社会のあり方、全てを見直そうという機運が盛り上がっている。2020年1月のダボス会議では、資本主義、社会主義というテーマになっていた。今パンデミックの中で社会が大きな混乱を起こしていると思う、公の力が今ほど試される。保健所を半減したことが、コロナで検査が受けられないという状態にもなっている。

7月22日臨時会(予定)

コロナ後に向けた新たな投資を

国の第1次補正による第1弾では即効性、第2弾では必要とされる各方面への支援策が講じられた。

このたびの国の第2次補正予算で、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金が増額される。第3弾として、次の4項目に基づいて、よりきめ細やかな支援策が策定される。

7月22日の臨時会では、これらの具体的施策が上程・審議される予定。

- ①感染防止対策
- ②町民生活支援
- ③地域経済対策
- ④コロナ後へ新たな改革



上：米疾病管理予防センター
下：「商品券」午前中で完売(町民提供)

請願・陳情

番号	件名	提出者	要旨	付託委員会	委員会の意見	本会議採択結果
2年陳情第3号	「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情	鳥取県労働組合総連合 議長 田中 暁	国に対し、最低賃金の地域間格差の是正と抜本的な引き上げ及び中小企業支援策の拡充を求める。	総務産業	採択	採択 (国に意見書提出)
2年陳情第4号	議会本会議中の議員の発言について、発言の撤回と陳謝を促すことについて(陳情)	足羽 佑太	令和元年第6回定例会における議員の発言について、議会としてそれを戒め、撤回させるよう求める。	総務産業	不採択	不採択
2年陳情第5号	地方財政の充実・強化を求める陳情	自治労鳥取県本部 執行委員長 山口 一樹 琴浦町職員労働組合 執行委員長 林原 裕司	国に対し、2021年度の政府予算と地方財政の検討にあたっては、歳入・歳出を的確に見積もり、地方財政の確立をめざすよう求める。	総務産業	採択	採択 (国に意見書提出)

賛否が分かれた議案等の起立採決による審議の結果

	審議結果	議員名																	
		賛成	反対	前田 敬孝	角勝 計介	福本 まり子	押本 昌幸	大平 高志	澤田 豊秋	桑本 賢治	新藤 登子	高塚 勝	手嶋 正巳	青亀 壽宏	前田 智章	桑本 始	井木 裕	小椋 正和	
臨時会	令和2年度琴浦町一般会計補正予算(第1号)	可決	12	1	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	欠	議
定例会	議長に対する懲罰について(懲罰なし)	可決	8	5	○	○	×	○	×	○	○	○	×	仮	×	○	○	×	除
	議会本会議中の議員の発言について、発言の撤回と陳謝を促すことについて(陳情)	不採択	0	14	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	議	
	地方財政の充実・強化を求める陳情	採択	13	1	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	議
	地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について	可決	12	2	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	議

この表に掲載していない議案は全会一致で可決、陳情は全会一致で採択となりました。
○=賛成 ×=反対 欠=欠席 議=議長 仮=仮議長 除=除斥

委員会の報告

総務産業常任委員会

委員長 澤田 豊秋



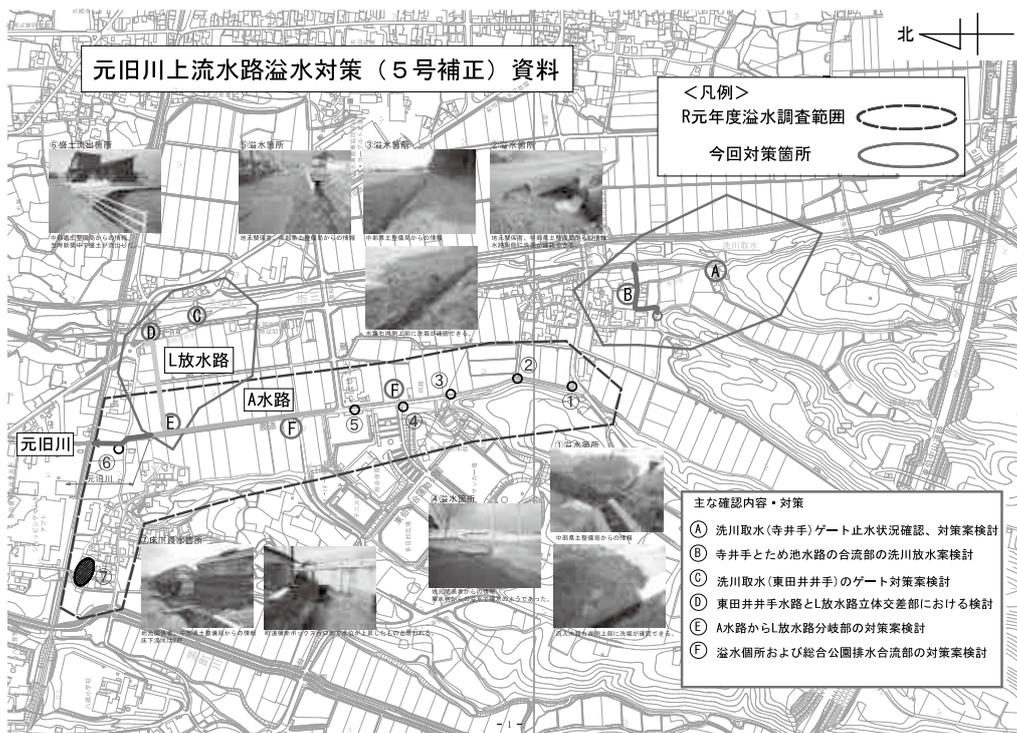
元旧川視察 (E地点)

6月16日委員会を開催し、各課からの報告事項等の説明を受け質疑を行った。

また、付託された陳情3件について審査した。「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書の採択を求める陳情」と、「地方財政の充実・強化を求める陳情」は採択。「議会本会議中の発言について、発言の撤回と陳謝を促すことについて」は、不採択とし審査を終えた。

今回は、町内業者のテイクアウト弁当を一向平で昼食とした。午後、一向平キャンプ場の観光地化プロジェクトの状況と「元旧川上流水路溢水対策」について、現地確認をおこなった。なお、今後できるだけ現地確認と関係機関をはじめ町民との意見交換に努めることを申し合わせた。

- Q** 4月28日以降出産予定の妊婦に対する給付金(商品券5万円)を特別定額給付金(10万円)並みにできないか。
- A** 二次補正で検討。
- Q** 大学生が家賃等大変な状況にある、大学生等への経済支援は。
- A** 町民の声を聞いて、琴浦町らしい支援を考える。
- Q** 敬老会の補助が廃止されたが、高齢者にテイクアウト弁当の配布で事業者支援をしては。
- A** 対応を検討する。
- Q** テイクアウト40店舗中5店舗終了は少ないのでは。
- A** 事業は完了するまで継続する。



一向平キャンプ場は、今年4月から「株マイルキューブ」に指定管理され、6月20日にオープン。今秋にはフィンランド式サウナも始まる予定。



教育民生常任委員会

委員長 大平 高志

6月17日に委員会を開き、各課からの報告事項、議案に関する説明を受け、質疑を行った。

また、5月22日に社会福祉協議会から取り組みと現状「地域福祉活動計画の策定」の策定状況を聞き取りし、事業取り組みに関して認識を深めた。

- Q 不登校の状況はどうなっているか。
- A 年度初めに多い、学年が上がるごとに少なくなる傾向がある。
- Q 学生支援の取り組みはどうなっているのか。
- A 奨学金支援を県の事業に乗る形でしている、他のメニューも検討したい。
- Q GIGAスクール構想はどうなっているか。
- A 夏休み中に校内回線を改修予定。
- Q セキュリティ対策はどうなっているか。
- A インターネット用に回線を引くが、鳥教ネットと使い分けしたい。
- Q 不登校生徒にオンライン授業で対応できないか。
- A 検討してみたい。
- Q 三密もある。少人数学級も考えては。
- A 既に話は出ている。方向は検討課題とと思っている。
- Q 斎尾廃寺跡の史跡について、国道からの案内板がないが考えられないか。
- A 保存と活用を考える中で検討していきたい。

懲罰特別委員会

委員長 前田 智章

懲罰特別委員会審査報告書

本委員会は、令和2年3月23日に設置され、「議長 小椋正和君に対する懲罰の件」について付託され、4月16日及び5月8日の2日間にわたり慎重に審査した結果、下記のとおり決定したので会議規則第77条の規定により報告します。(6月定例会初日で報告)

記

1. 審査結果 懲罰を科さない。

2. 経緯

当委員会では、議長小椋正和君の当該発言に関して、客観的な事実としては、他人の私生活にわたる言論は一部あったとの見解を持つ一方で、その発言が職務上の限度を超えて、個人の問題に立ち入った発言であったとは断定しがたい。

また、真に不適切な言辞を用い、議員としての品位を失墜させる言動があったと断定するには至らなかった。

したがって、議長小椋正和君の一連の発言については、懲罰を科すべきではないという審査結果である。

ここが聞きたい

一般質問 Q&A

一般質問とは、議員が、町長・教育長・農業委員会会長・選挙管理委員会委員長・監査委員などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来に対する方針などについて問うもの。

本町議会の質問時間は、1人30分以内（答弁時間除く）。

通告1番



前田 敬孝

- ①新型コロナウイルス感染対策と今後の対応について
- ②特定健診受診率向上のための取り組みと予防医療に対する町の方針は

通告2番



新藤 登子

- ①コロナ禍による災害時の対策は

通告3番



手嶋 正巳

- ①梨の振興について
- ②学校のトラブル早期解決「スクールロイヤー」導入について

通告4番



福本まり子

- ①キャッシュレス決済拡大推進方策は
- ②新型コロナウイルスの影響と対策は
- ③防災対策の見直しについて

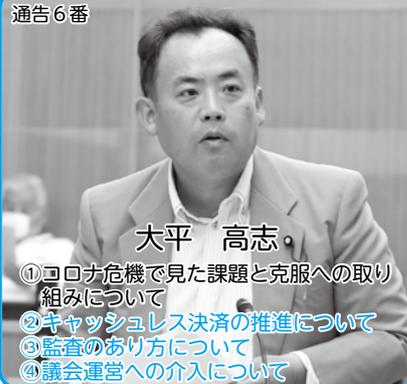
通告5番



押本 昌幸

- ①「コロナ以降」についてどう考えるか
- ②「若者回復率」について

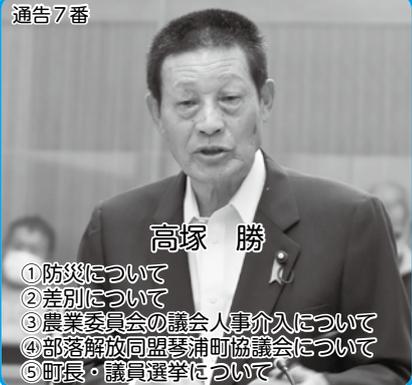
通告6番



大平 高志

- ①コロナ危機で見た課題と克服への取り組みについて
- ②キャッシュレス決済の推進について
- ③監査のあり方について
- ④議会運営への介入について

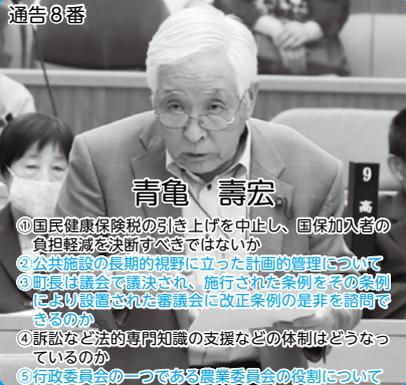
通告7番



高塚 勝

- ①防災について
- ②差別について
- ③農業委員会の議会人事介入について
- ④部落解放同盟琴浦町協議会について
- ⑤町長・議員選挙について

通告8番



青亀 壽宏

- ①国民健康保険税の引き上げを中止し、国保加入者の負担軽減を判断すべきではないか
- ②公共施設の長期的視野に立った計画的な管理について
- ③町長は議会で議決され、施行された条例をその条例により設置された審議会に改正条例の是非を諮問できるのか
- ④訴訟などの法的専門知識の支援などの体制はどうなっているのか
- ⑤行政委員会の一つである農業委員会の役割について

通告9番



桑本 始

- ①新型コロナ独自支援策と今後の戦略について

※青字は、本紙では省略

一般質問の答弁者に「〇〇課長」とあるのは、地方自治法第121条の規定により、町長及び行政委員会の長から「委任を受けた説明員」として出席した課・局・室長の答弁。





しわやたるみ、生活習慣病 原因はAGEs



諸説あるので様子見な がら考える 小松町長



前田 敬孝 議員

質疑応答時間 (9回 (質問) (答弁) (トータル) 27分 + 31分) 58分

字体による視認性の比較

- 鳥取県東伯郡琴浦町徳万591-2
いちばん読みやすい字体はどれですか
(游ゴシック Light)
- 鳥取県東伯郡琴浦町徳万591-2
いちばん読みやすい字体はどれですか
(BIZUDP ゴシック)
- 鳥取県東伯郡琴浦町徳万591-2
いちばん読みやすい字体はどれですか
(HGP 創英角ポツ体)

町の配布物で使用している書体や色づかいなど、役場全体としての基準がないようだ。手に取って読まれ、理解されて初めて「お知らせ」が届いたことになる。小さくて細かい字、カラフルな配色が苦手な人もいる。なにより先に読字障害や視力の弱い人、色弱の人への配慮をすべきではないか。

問 役場全体としての基準が必要

健康診断の案内に限らず、すべての配布物に配慮を

答 情報伝達のデジタル化

コロナ対策の次になる。二次補正による次の段階の取り組みというところで考えていきたい。

問 AGEsに着目し生活習慣病対策の一本化を

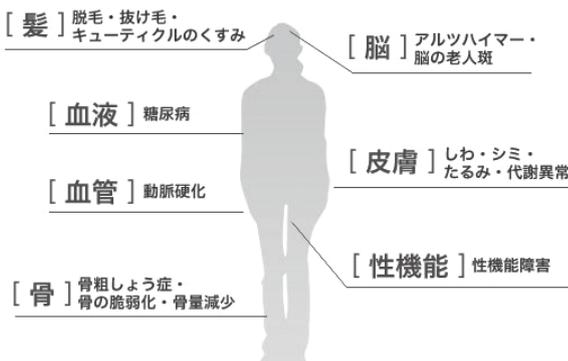
体内の糖分が髪の毛、骨、内臓、筋肉などを作っているたんぱく質に蓄積して細胞を劣化させるAGEs(終末糖化産物)という物質がある。骨粗しょう症、サルコペニア(筋肉の減少)、アルツハイマー病、歯周病などの生活習慣病だけでなく、皮膚のコラーゲンに蓄積すると、くすみやしわの原因になる。糖尿病患者の寿命が短くなるのは、AGEsが蓄積しやすく、それだけ老化が進むということ。体内のAGEsを簡単に測定できるセンサーは県の看護協会でも貸し出しを行っており、健康状態(老化度)が「見える化」できる。より多くの町民や事業所に参加を呼びかけ、AGEs測定を啓発し、健康意識を高めれば特定検診につながるはずだ。未受診者の半数を占める、「すでに通院しているから」という理由で受診されない方への呼び水になると思う。令和2年度からは「保険者努力支援制度」が大きく変わり、取り

答 健康問題には諸説ある

健康というのはひとつの数字では計れない。専門家の意見を参考に、健康問題について考えていく。

組みの悪い自治体は交付金が減額となる。知事は「県内で面白そうな取り組みがあれば、他の市町村に横展開していきたい。」という考えのようだ。「AGEsを取らない、貯めない、作らない運動」を町で推進してはどうか。

AGEsが、各器官に与える影響



(参考:杏林大学)

出典:一般社団法人日本ハンド・ビューティー協会



新藤 登子 議員

問

コロナ禍における 災害時の対策は

答

感染対策を追加する 小松町長

質疑応答時間（14回 質問）（答弁）（トータル）
16分 + 29分） 45分

感染の対策は

問

新型コロナウイルスの感染がいつ収束するのか分からない。地震や台風の発生、梅雨どきの大雨には土砂災害もあり得る。感染の対策は。

答

知人、親戚に移るなどの対策を周知
小松町長

地域防災計画、運営マニュアル、手洗い、うがい等の徹底や避難者のスペース確保など感染対策を追加する。避難所の過密を避けるため、事前に親戚、友人宅への避難の方針を町民へ周知する。

問

避難所での三密を避けるための対策は

テント10基準備しているが、それは飛沫感染を防ぐためのものか。間仕切りは2m間隔か4m間隔か。

答

避難する方の人数による
小松町長

2mという一つの指針があっても10人來られて2m離れての形はするが間仕切りまですることになるか今後検討していきたい。

問

**避難所3施設
準備地区はどこか**

3か所にテントを分けられるのか。地区は決まっているか。

答

台風が来るときの避難所を準備
小松町長

3か所設置している。それ以上の避難所を想定してテントを準備しているところ。

答

中山間地を想定
山田総務課長

中山間地を以西、古布庄、下郷を想定している。あとは各地区の公民館が基本となる。その他移動があれば予備を使って順次対応する考えである。

問

**避難所開設の訓練大事
だと思おうか**

今からの備えと、いかに早く対応するかも大事で、感染防止と命を守る行動、防災とコロナ対策をどう両立させるか。そのためには訓練が大事、取り組んでは。

答

**訓練の重要性は十分承知
している**
小松町長

訓練というのは結局自分が逃げる所を実際に歩いてみるから始まると思う。いかに密にならないようにするかを考えながらやっていかなくてはならないと思う。

問

三密を避けるための炊き出しは

今まではボランティアの協力があった。しかし集まると密になる。食事の体制と必要な備え、そして備蓄倉庫の中にある物資などの確認はどうか。

答

**炊き出しを考えていない
わけではない**
小松町長

長期にとなれば炊き出しはある。全く考えていないわけではない。備蓄倉庫には乾パン、水、赤ちゃんのミルクを備蓄するようにした。賞味期限とのバランスも考えながら検討していく。



問

①梨の現状を踏まえて、今後の振興は
②スクールロイヤー導入は

答

①「ビジョンを考える会」で検討、協議を進め
取組みを展開していく 小松町長
②現段階では考えていない 田中教育長



手嶋 正巳 議員

質疑応答時間 (15回 (質問) (答弁) (トータル) 46分
17分 + 29分)

梨生産の現状、
非常に厳しいと思うが

問 農業という中での、梨の
位置づけは

答 一つの主力商品である
小松町長

一つの主力であり産地ということ
で皆さんの誇りがあると思う。

問 H27年と現在とを比較してみ
ると、次のようだがどう思うか

	H27	R01	差
全体戸数	208	155	▲53 (戸)
全体面積	101.9	75.74	▲26.16 (ha)
全体数量	2,658	1,888	▲770 (t)
全体販売額	998	867	▲131 (百万円)
平均単価	376	460	84 (円)

(琴浦梨生産部調べ)

答 非常に厳しい状況にある
と認識している 小松町長

作付け面積を維持するのは難しい
が、平均単価は上がっている。品種な

ど考えて、生産者の所得が上がるよ
うに生産振興していくべきと考える。

問 収穫時に台風がやってくる

地球温暖化の関係で業種転換の話
を聞くが。

答 自然災害は防ぐことはで
きない 小松町長

宿命的な話であり、(業種転換も)
一つの選択肢だと思う。

問 二十世紀梨の歴史を

百年樹のある梨公園(ガーデンヒ
ルズ立石台の南側)のPRを。

答 百年樹のPRも、販路拡大
で検討していく 小松町長

二十世紀梨の歴史を語る上で重要。
農協と相談の上検討していきたい。

問 梨生産振興事業で
推進していくのか

「新甘泉」など新品種の生産拡大、
ジョイント栽培の推進等で梨産地の
活性化を図るのか。

答 JA果樹研究会の同志会と
連携 小松町長

「梨生産部の将来ビジョンを考え
る会」で検討、協議を進め梨の産地
を維持発展させるため、支援をして
いく。

スクールロイヤー導入
の検討は

問 現場から専門家の助言を
求める声が高まっている

文部科学省は今年度から学校現場
に助言する弁護士「スクールロイ
ヤー」を全国に配置する取組みを加
速させる。いじめや虐待など子ども
を巡る問題が複雑化する中、深刻化
する前の早期解決が求められてい
る、導入の考えは。

答 現段階では考えていない
田中教育長

文部科学省は今年度より全国に300
人配置する方針と聞いている。現在、
県が文部科学省の方針によって導入
されたとは聞いていない。町として
は、県教育委員会が契約している教
育専門の顧問弁護士、町の顧問法
士を活用する。



福本 まり子 議員

問

- ①キャッシュレス決済拡大推進方策は
- ②新型コロナウイルスの影響と対策は
- ③防災対策の見直しについて

答

- ①諸証明発行時の決済から取り組む
- ②・第2弾にむけて英知をしぼる
・新生活様式とGIGAスクール構想充実
- ③コロナ関連対策整備を盛り込む

町長
町長
教育長
町長

(質問) (答弁) (トータル)
質疑応答時間 (12回 30分 + 46分) 76分

自治体での
キャッシュレス化で何が

問

キャッシュレス拡大推進全国29か所のモデル地区に琴浦町が選定されたが、具体的に何を推進実施しようとしているのか。町内事業所のキャッシュレス化はまだ20%程度であり、この6月末にはポイント還元制度も終了する。9月からはマイナンバーカードのマイナポイントを付与するという国の動きもあるが、マイナンバーカード化も23・74%と進んでいない。カード取得の必要性を感じられないとか、個人情報報の漏洩や口座から引き出されるといった不安の声も聞く。関連も含めて方向性は。

答

証明書等交付時に

小松町長・山田総務課長

役場内のキャッシュレス化を進めるが、証明書の発行についてもキャッシュレスで処理できるかを検討。ただ手数料の発生があるので、そのあたりも含め、モニターしていく。早ければ11月を目途に行う。

コロナ禍のなかでマイナンバーカードに口座をつけてという話や健康保険証をといても聞くが今のところ未定。マイナポイント(2万

円に対し5千円のポイント上積み)の実施にむけ、「マイキーID」を取得するよう取り組む。

コロナ禍の第2弾対策は

問

すでに臨時議会でコロナ対策を打ち出し、第一段階は飲食店を中心とした経済対策や支援でスピード感をもって実施したが、これからは生活支援や雇用、さらに教育の面で幅広い対策が望まれるがどうか。

答

住民の声を聞きながら

小松町長

国の2次補正、2兆円の地方創生の臨時交付金が想定されている。商業が一番影響を受けているが、経済的に回復しようとする時に何が必要なら、考え、次に手を打たなければと思う。

答

新しい生活様式で

田中教育長

授業の遅れもなく、三密を避けた「新しい生活様式」という指針」がでているのでそれに従って学校は対応。GIGAスクール構想が前倒し

になったのでICT活用が進む。

コロナを教訓とした
防災対策の見直しを

問

近年、長雨やゲリラ豪雨といった現象が頻繁におきており、土砂災害や河川の氾濫を想定してのハザードマップは作られているが、分散型避難、避難所の在り方や避難のタイミングが重要となっている。またコロナ対策を視野に避難所の設計や運営、備蓄品、住民個々の意識や防災グッズ等の見直しが急務だが。

答

点検を行い整備する

小松町長

コロナ関連で消毒薬とかテント等は発注をかけている。分散避難も考え、開設頻度の高い避難所への備蓄品整備等、現地の確認を行う。

また、避難所運営についても点検をかけていくことになっている。防災対策は、すべて町がフルセットでできないので、地域の人たちの声や動きを頼りに運営をやっていく避難所ということになる。

問 ポスト・コロナ時代の対処は
そして点検、対策の1つに「花火」

答 DX (デジタル・トランスフォーメーション)
時代の在り方 (戦略) を考える必要 小松町長



押本 昌幸 議員

質疑応答時間 (8回 (質問) (答弁) (トータル)
30分 + 24分) 54分

問 ポスト・コロナに「創生戦略」
も含めどう対処するのか

5月末、地元紙の社説に「各市町村の6月議会、この市町村のやったコロナ対策の点検と備え」があった。が、今回のコロナ禍は、どうも世界が変わりそうだと4月末ころから言われ始め、在宅勤務とかテレビ会議とか、リモート化とかで世の中変わりそうだと。そういった時代のとしてのポスト・コロナ、これにどう対処するのかを尋ねたい。
4月に始まったばかりの「琴浦町まち・ひと・くらし創生戦略」も考え直さなければならぬのでは、例えば観光戦略など。

答 「地方創生」の根本は
「東京一極集中」の分散化

今回のコロナ禍、会議の仕方でも県内のテレビ会議とか、講師が呼べないので「ZOOM」とか使って複数の方と意見交換するということが琴浦町でも何件か5月6月でやっている。会社に行かなくても、東京にいらなくても済むんじゃないか。
「地方創生」の根本は「東京一極集中の分散化」であった。満員電車に乗るよりも月一回本社に出勤で済むなら、鳥取に、琴浦に住んでもいいな、

という人が出てくるかもしれない。教育で言えば遠隔授業と、その条件整備も必要になる。

問 これからのDXの世界で、
ケア・福祉が大事になる

「琴浦町創生戦略」は「子育て・健康・経済・観光・交流」の5つ。そこで、先ほどのテレワーク・在宅勤務・テレビ会議、これらはリモート化だ。そしてAIやビッグデータを使う。これらがコロナ禍を契機に、第4次産業革命の到来でデジタル化

ポスト・コロナ時代の対策は
「創生戦略」の見直しは



が加速する。一方で、何も危険性の高い都会にいらなくても暮らができる、それが万人の目にも見えてくるようになった。これがDXだ。

リアルの世界で生きてて、ネットで買い物、ビデオで会議、音楽をダウンロードして聴く。これがDXの世界ではデジタルでつながりながら、たまにはいい買い物も、実際にあの人に会って話を、またライブ、コンサートに行く。こういうふうの世界観が逆転する。
テレワーク・ネット通販が進んで

も、それを運搬する人、警官・消防士・医師・看護師など必須の社会的共通資本を支える人々が要る。同時にデジタルで安心安全を守る人がある。今以上に格差が拡大する。そこを補うケア・福祉が今後非常に大事になる。が、「創生戦略」に「福祉」がない、これはなぜか。

答 意外と高齢者がスマホを

意外と高齢者がスマホで孫の動画を見る、楽しい。これもDXでの在

り方と思う。「福祉」は「創生戦略」とは別に今年度「福祉戦略」を策定とのこと

問 「コロナ対策の点検」
「疫病払い」に「花火大会」は

「コロナ対策の点検と備え」で琴浦町は及第点だと思いが、あと一点、コロナ禍ストレスに対し、享保年間に吉宗將軍が始めた「疫病払い」の「花火大会」を考えるべきでは。

答 「花火」
一つの提案として受けておく



大平 高志 議員

問 コロナ禍で見えた町の課題は

答 キーワードはデジタル化
小松町長

(質問) (答弁) (トータル)
質疑応答時間 (36回 30分 + 55分) 85分

効果的なコロナ対策を

問 コロナ禍で見えた町の課題はどこにあるのか、また克服のため何が必要と思われるか。

答 デジタル化がキーワード
小松町長

幸い県内では3名の陽性患者で約2カ月が過ぎています。そこで課題は感染予防の取り組みあるいは国の補正で持続化給付金、定額給付金の事務作業に追われていた。その先に盛んに言われている新しい生活様式がある。キーワードはデジタル化だと思っている。

問 休校中の学力保証は

答 状況を把握して指導
田中教育長

休校中は、いずれもプリント配布、オンライン学習ソフト「すらら」の無償案内、そして各種オンライン学習サイトの紹介等、学習保障を行っている。配慮を必要とする生徒につ

いては担当が直接電話や家庭訪問の形で状況を把握して指導している。

問 食事券の売り上げ状況は

緊急事態宣言が出され自宅を過ごされた方も多く宿泊・飲食業が大きな打撃を受けた。救済策でテイクアウト、プレミアム付ことうら食事券事業もされたが、食事券は販売当日3割の売り上げと聞いている。現在の状況は。

また外出自粛により特に高齢の単身世帯や社会的弱者の方の見守り・安否確認はできていたのか、反省すべき点は無かったか。

答 いかに行っていたか
小松町長

売り上げが良かった悪かったよりも、いかにお店に行っていたかという考えで販売している。

答 周知不足
米村商工観光課長

食事券は十分な周知ができていなかった。現在の状況は77%になる。

答 民生委員にお願い
渡辺福祉あんしん課長

自粛中は民生委員も心配しており、訪問はできるだけ避け電話で対応、予算も通信運搬費ということで

付けられた。どうしても電話対応ができない場合は臨戸訪問をしている。

問 効果的な施策を

ニーズにマッチしていたか検証が必要、水道料金の無償化やごみ袋の無料配布など、独自の事業で注目されている自治体もある。効果的な施策をお願いしたい。見守りは、自主防災組織や社会福祉協議会と連携し活動を行う必要があったのでは。

答 動きづらかった
小松町長

緊急事態宣言が出て民生委員も動きづらかったと思う。食事券は飲食店が困っているということで本・分庁舎と商工会で販売した。

問 熱中通販の売上状況

巣ごもりで全国的に通販の売り上げが伸びた話もある。通販と言えば熱中通販の売上状況が分かればお願

答
米村商工観光課長

5月末でトータル27万2、154円である。

問 新型コロナ災害対応は

答 防災計画を見直す 小松町長
検討する 田中教育長



高塚 勝 議員

質疑応答時間 (22回 (質問) (答弁) (トータル) 20分 + 28分) 48分

防災計画は



発行：鳥取県

問

①「町防災計画」は、新型コロナのような感染症対応ができていない。見直しすべきではないか。

②町は大小様々な施設を所有している耐震化の現状は。

③島根原子力発電所災害発生時、町内には多数の避難民を受け入れることになっているが対応は万全か。

答

見直しをする

小松町長

①「町防災計画」は、変更が必要と考えている。

②法律で決められている32棟の耐震化は終了し、他の20棟の内15棟は調査済みであるが、5棟は廃止等で調査を止めている。

③米子市から約7000人受け入れするが、今後県からの指導がある。

答 検討する

田中教育長

一般的な感染症は、学校保健安全法で対応している。今回の新型コロナ等については今後検討する。

問

役場正職員は賃貸住宅に住んでいる場合住居手当が支給されているがその目的は、また、会計年度任用職員には支給されていない。これは差別ではないか。

町職員住居手当差別

答

差別ではない

小松町長

福利厚生として、長期に採用した場合の住宅の確保の補助である。会計年度任用職員は、最大3年の期間で事務の補助ということで支給していない、差別ではない。

問

今年2月の議会常任委員会配属で、小松議長は、某議員に対して「農業委員会から、ちょっとあったのでそういうことがないよう配慮した」と答えた。これは委員会が議会人事に介入したこととなるが事実か。

農業委員会の人事介入は

答 介入したことはない

福田農業委員会会長

農業委員会が議会の委員会配属に介入したことはない。

問

「議会監査請求の報告」によると、「部落解放同盟琴浦町協議会は、人権施策を推進する公益的な活動を目的としている団体」とある、政治活動、選挙運動、糾弾闘争をする団体でも公益か。

部落解放同盟は公益団体か

答

公益的な活動団体と判断

福田代表監査委員

補助金の目的として、研修して差別のない社会にしていこう活動が公益的な団体と判断する。

町長・議員選挙投票率アップ

問

前回の投票率が、54・6%と低調であった。今後投票率アップを検討すると回答を得ているが、検討結果は。

答

有効手段積極的取り入れ

坂口選挙管理委員長

従来からの啓発活動を行っており新たな有効手段が見つかれば積極的に取り入れる。



青亀 壽宏 議員

問 国保増税の見直しを

答 指摘を含めて考える 小松町長

(質問) (答弁) (トータル)
質疑応答時間 (22回 30分 + 40分) 70分

国保税の凍結

問 今年度の国保会計は、医療費が上がる予定で約2000万円不足するとして、3600万円蓄えがあるのに引き上げた。

コロナ禍の中で前年所得に課税する矛盾が極限まで広がりがかねない。国保税の増税を見直すべきでないか。

答 経済的影響が一気に出た。これからの心配。税率の見直しを行ったが、コロナの影響も見ながら考えていかなければならない。経済状況を見たとき指摘も含めて考えていかないと思っている。

問 国保の滞納は第1位

「しんぶん赤旗」によれば4割の自治体が国保を値上げして琴浦は上位6位にランクされている。標準世帯で年間6・6万円上がって41・7万円になる。東京の国立市は上げる予定の国保料を凍結した。国保運営協議会を開き、見直すべきだ。

答 対象者のことを考える 小松町長

町内の経済状態を考えたときどうすべきか考えないといけない。

国保の対象者のことを考えながら検討したい。

問 低所得者を直撃

所得25万円の母子家庭の場合給与収入は12万円になる。この層の値上げは1・2万円で年間国保税は8・89万円になる。給与収入の7・2%も持っていられる。

子どもが病気になるれば窓口負担もいる。放置できないのではないか。

答 各課と相談し判断 小松町長

今言われた数字は、すぐには頭に入らないところもあるが、執行上の予算の話も聞いた上で判断したい。

問 受診抑制は顕著

県の保険医協では、患者が70%、歯科では77%に減っている。値上げしたのはいいが、受診抑制で医療費の伸びが抑えられて基金がさらに積み上がることは避けなければならぬ。

国保税を元に戻すぐらいの対策をぜひやってほしい。

答 減っているのも確か
小松町長

患者が減っているのも確かで、承知している。それも含め、国保税のあり方を検討したい。

法的専門知識活用

問 法的知見の活用は

複雑かつ専門化する地方行政にあつて法的専門知識の知見の活用を町はどのような体制で対応しているのか。

答 顧問弁護士に相談 小松町長

町村会の委託している顧問弁護士に相談している。相談は年々増え、「琴浦は多い」と弁護士は言っている。訴訟には費用弁償している。

問 上伊勢の境界確定訴訟は一体 いくらかかったのか。登記 を町がすると議会で言っていたが、 登記は誰がして、誰が費用を負担し たのか。

上伊勢の境界確定訴訟は一体いくらかかったのか。登記を町がすると議会で言っていたが、登記は誰がして、誰が費用を負担したのか。

答 大田事務課長

町では(登記を)やっていない。当事者がされたと聞いている。



桑本 始 議員

問

コロナ禍の弱者救済を
独自支援策で

答

国の2次補正で対応する
小松町長

(質問) (答弁) (トータル)
質疑応答時間 (14回 27分 + 43分) 70分

新型コロナウイルスと自然災害

問 分散避難所マニュアル
いつ知らせるか

- ① 新型コロナウイルス「複合災害」(コロナと自然災害が共存する) 分散避難所マニュアルの作成と町民への告知はいつするのか。
- ② 企業の経営と雇用の中で、離職者に町営住宅の家賃半額提供、また事業者の水道料基本料金の免除について。
- ③ 弱者救済措置として、児童扶養手当を受給するひとり親世帯(未婚も含む)に一律3万円、児童1人あたり米5kg支給する。また、障がい者就労B型に給付金を。
- ④ 役場の分散業務(職員感染時の業務継続等)については。
- ⑤ 学校教育の現状と今後の対応の中で、休校前後の学習指導と小学1年生の学校生活の実態は。また、今後のオンライン教育について。

答 ①分散避難で「密」回避
小松町長

国の複合災害の指針また、2次補正を見ながら、通常の避難所の中で避難所避難・ホテル避難・青空避難・縁故避難等、新型コロナウイルスに留意しな

から分散避難を検討中である。感染を避ける避難所の行動ということについては町民に7月の頃には各戸に個別配布したい。急いでやっていることは、現地確認から始め、早急にマニュアルを作成したい。
避難所受付の問診やチェックシートは保健師が対応し分散・個室等に振り分け方については、保健所と相談する。

答 福祉避難所8カ所確保
山田総務課長

福祉センターを含め、町内各福祉施設等で、吸引器・マスク・アルコール消毒等検討している。
10張のテントは、地区公民館単位に、優先的に以西・古布庄・下郷で、それ以外は24カ所の指定避難所を設置している。

答 ②現場の声を聞き独自
支援する
小松町長

経済対策として、離職者や事業者の水道料にしても、現場の声を聞き支援を検討する。

答 ③弱者救済は実態を把握
小松町長

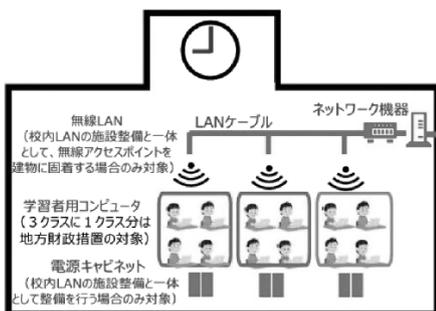
行政は申請主義なので、実態があれば対応したい。制度にのるもの、

答 ④分散業務はやっているが、職員感
染時はBCPに基づき
小松町長

本庁舎・分庁舎・まなびタウン・公民館はオンラインでやっている。
職員感染時には、業務継続計画(BCP)に基づき、時差出勤・シフト勤務等の業務を執行する。

答 ⑤支障は出ていないがICT
教育環境を整える
田中教育長

4月に入ってから休校は4日間のみで、学校生活に問題はないが、第2波・3波の可能性もあり、特別活動をどういった形で取り入れていくか考えながら対応したい。ただ休校時ではないが、児童虐待はある。また、オンライン教育、GIGAスクール構想に対する対応に組みたい。



議会に対する町民アンケート調査(郵送アンケート)集計結果

琴浦町議会では、町民の皆さまの目にどのように映っているのか、また、日ごろ議会をどのように感じられているのかを伺い、これからの議会のあり方を考えるため、アンケートを行いました。

アンケートにご協力いただいた皆さま誠にありがとうございました。(議長)

アンケート結果は次のとおり。紙面の都合上、ホームページや意見箱への回答、および自由記載欄の意見等は省略。詳細は町ホームページで公開。

なお、現在鳥取大学に委託して分析を行っている。

調査方法

- ①調査対象…住民基本台帳（令和元年11月1日現在搭載）から無作為抽出した満18歳以上の町民1,000人
- ②調査方法…郵送によるアンケート調査票の配布、回収
- ③調査期間…令和元年11月5日～12月2日到着分までを集計



詳細はこちら

■回収の状況

【全体】送付数 1,000件 回収数 246件 (24.6%)

【問1】 あなたの性別は。

①男性 107件 ②女性 137件 ③その他 0件 ④無回答 2件

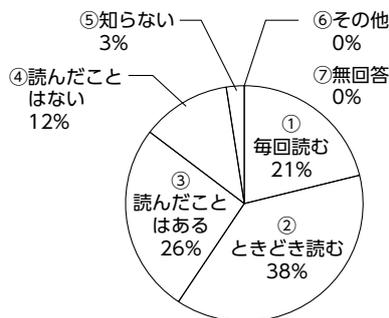
【問2】 あなたの年齢は。

①20代未満 0件 ②20代 11件 ③30代 42件 ④40代 25件
⑤50代 52件 ⑥60代 64件 ⑦70代 47件 ⑧80代 6件

【問3】 あなたの職業は。(主なもの)

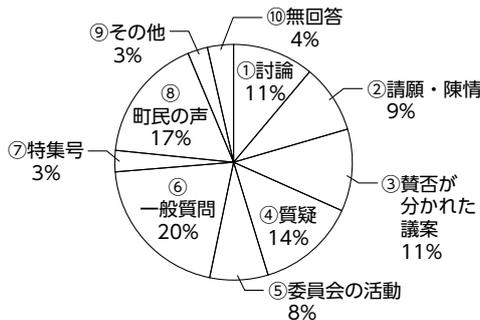
①会社員 83件 ②公務員 13件 ③農林漁業 23件 ④専業主婦(夫) 27件
⑤非正規 39件 ⑥学生 1件 ⑦無職 45件 ⑧その他 15件

【問4】 議会広報紙「議会だより」を読まれたことはありますか。



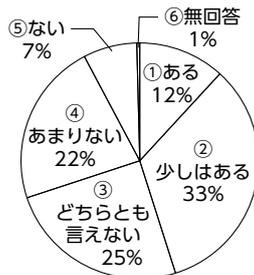
	1. 男性	2. 女性	3. その他	4. 無回答	回答数	率
①毎回読む	29	22		1	52	21.1%
②ときどき読む	43	51			94	38.2%
③読んだことはある	20	43		1	64	26.0%
④読んだことはない	12	18			30	12.2%
⑤知らない	3	3			6	2.4%
⑥その他					0	0.0%
⑦無回答					0	0.0%
合計	107	137	0	2	246	100.0%

【問5】 議会広報紙「議会だより」の記事内容について興味のある項目はどれですか。(複数回答可)



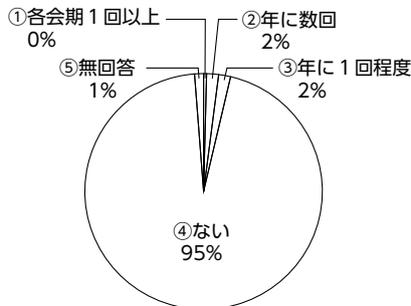
	1. 男性	2. 女性	3. その他	4. 無回答	回答数	率
①討論	27	25		1	53	11.1%
②請願・陳情	19	26			45	9.4%
③賛否が分かれた議案	31	23			54	11.3%
④質疑	33	32			65	13.6%
⑤委員会の活動	15	22		1	38	7.9%
⑥一般質問	45	52		1	98	20.5%
⑦特集号	5	9			14	2.9%
⑧町民の声	27	54		1	82	17.1%
⑨その他	7	6			13	2.7%
⑩無回答	6	11			17	3.5%
合計	215	260	0	4	479	100.0%

【問6】 あなたは、琴浦町議会に関心がありますか。



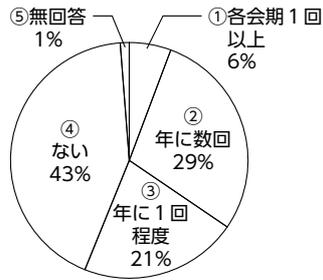
	1. 男性	2. 女性	3. その他	4. 無回答	回答数	率
①ある	21	8			29	11.8%
②少しはある	36	46			82	33.3%
③どちらとも言えない	21	39		1	61	24.8%
④あまりない	21	33		1	55	22.4%
⑤ない	7	11			18	7.3%
⑥無回答	1				1	0.4%
合計	107	137	0	2	246	100.0%

【問7】 あなたは、町議会の本会議・委員会を傍聴されたことがありますか。



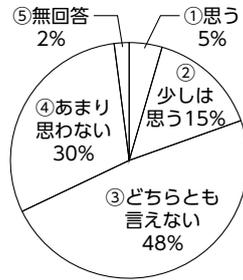
	1. 男性	2. 女性	3. その他	4. 無回答	回答数	率
①各会期1回以上		1			1	0.4%
②年に数回	3	1			4	1.6%
③年に1回程度	3	1			4	1.6%
④ない	99	133		2	234	95.1%
⑤無回答	2	1			3	1.2%
合計	107	137	0	2	246	100.0%

【問8】 TCC（ケーブルテレビ）で会議放送を視聴されたことがありますか。



	1. 男性	2. 女性	3. その他	4. 無回答	回答数	率
①各会期1回以上	9	5			14	5.7%
②年に数回	34	37			71	28.9%
③年に1回程度	24	28		1	53	21.5%
④ない	39	65		1	105	42.7%
⑤無回答	1	2			3	1.2%
合計	107	137	0	2	246	100.0%

【問9】 あなたは、今の町議会を総合的に評価できると思いますか。



	1. 男性	2. 女性	3. その他	4. 無回答	回答数	率
①思う	6	5			11	4.5%
②少しは思う	16	21			37	15.0%
③どちらとも言えない	40	78		1	119	48.4%
④あまり思わない	42	31		1	74	30.1%
⑤無回答	3	2			5	2.0%
合計	107	137	0	2	246	100.0%

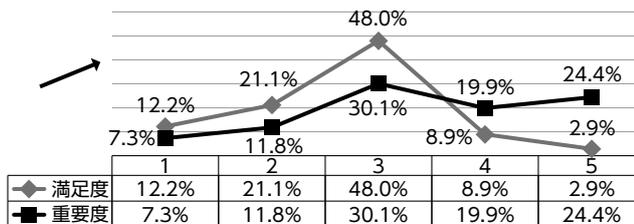
【問10】 あなたは、議会が果たすべき役割といわれる、以下の項目A～Dの機能について、日ごろどのように感じておられますか（満足度）。また、どのくらい重要だと思いますか（重要度）。あなたのお考えに近いものを1つ選んで、○をつけてください。

〈満足度〉	低い → 高い					無回答	総計
	1	2	3	4	5		
①町長や行政に対するチェック	30 12.2%	52 21.1%	118 48.0%	22 8.9%	7 2.9%	17 6.9%	246 100.0%
②条例の制定・政策提言	32 13.0%	67 27.2%	109 44.3%	14 5.7%	5 2.0%	19 7.7%	246 100.0%
③町民意見の町政への反映	42 17.1%	62 25.2%	105 42.7%	13 5.3%	7 2.9%	17 6.9%	246 100.0%
④町民への説明責任・情報提供	41 16.7%	69 28.1%	98 39.8%	15 6.1%	5 2.0%	18 7.3%	246 100.0%

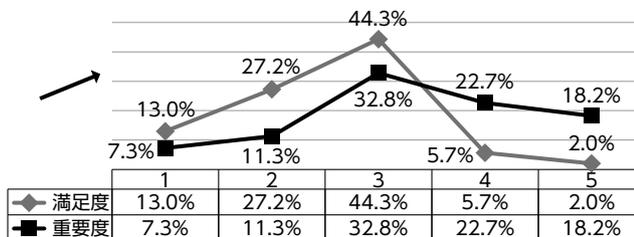
〈重要度〉	低い → 高い					無回答	総計
	1	2	3	4	5		
①町長や行政に対するチェック	18 7.3%	29 11.8%	74 30.1%	49 19.9%	60 24.4%	16 6.5%	246 100.0%
②条例の制定・政策提言	18 7.3%	28 11.3%	81 32.8%	56 22.7%	45 18.2%	19 7.7%	247 100.0%
③町民意見の町政への反映	20 8.1%	31 12.6%	57 23.2%	50 20.3%	74 30.1%	14 5.7%	246 100.0%
④町民への説明責任・情報提供	20 8.1%	30 12.2%	59 24.0%	52 21.1%	69 28.1%	16 6.5%	246 100.0%

【問10 続き】

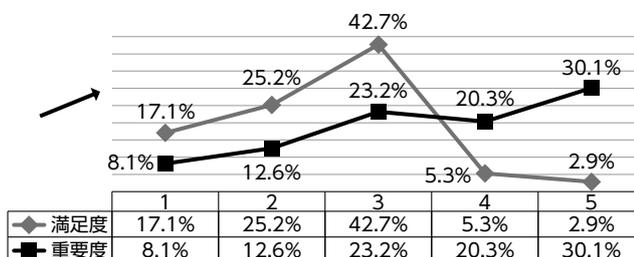
①町長や行政に対するチェック



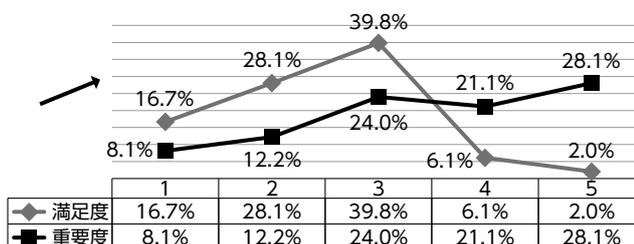
②条例の制定・政策提言



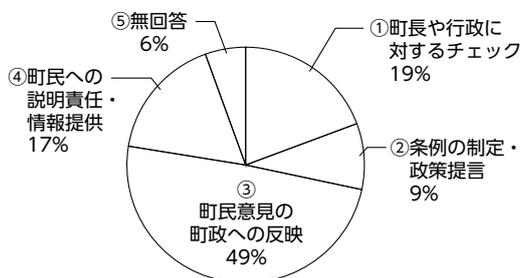
③町民意見の町政への反映



④町民への説明責任・情報提供

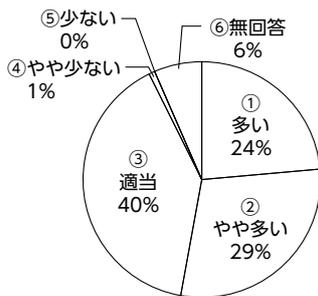


【問11】 問10の①～④のうち、あなたが最も重要だと思う議会の機能はなんですか。1つ選んで、チェックまたは、○で囲んでください



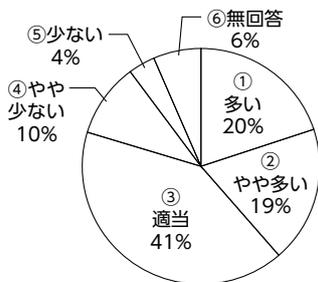
	1. 男性	2. 女性	3. その他	4. 無回答	回答数	率
①町長や行政に対するチェック	25	23		1	49	19.3%
②条例の制定・政策提言	13	9		1	23	9.1%
③町民意見の町政への反映	50	75			125	49.2%
④町民への説明責任・情報提供	13	30			43	16.9%
⑤無回答	7	7			14	5.5%
合計	108	144	0	2	254	100.0%

【問12】現在の議員定数（16人）についてどのように思われますか。また、そう思われる理由をお書きください。



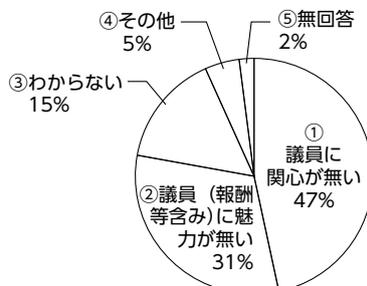
	1. 男性	2. 女性	3. その他	4. 無回答	回答数	率
① 多い	32	26			58	23.6%
② やや多い	31	40		1	72	29.3%
③ 適当	37	60		1	98	39.8%
④ やや少ない	1	1			2	0.8%
⑤ 少ない					0	0.0%
⑥ 無回答	6	10			16	6.5%
合計	107	137	0	2	246	100.0%

【問13】議員の登庁日数を平均すると年間70日程度になります。そのほかにも会議のない日は、各自で議員調査活動等を行っております。琴浦町議会議員報酬は、月額224,000円ですが、どう思われますか。



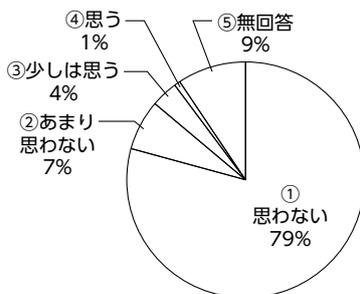
	1. 男性	2. 女性	3. その他	4. 無回答	回答数	率
① 多い	17	32			49	19.9%
② やや多い	13	32		1	46	18.7%
③ 適当	45	56			101	41.1%
④ やや少ない	16	9			25	10.2%
⑤ 少ない	9				9	3.7%
⑥ 無回答	7	8		1	16	6.5%
合計	107	137	0	2	246	100.0%

【問14】町議会議員選挙の立候補者が少なくなってきた理由はなぜだと思われますか。(複数回答可)。



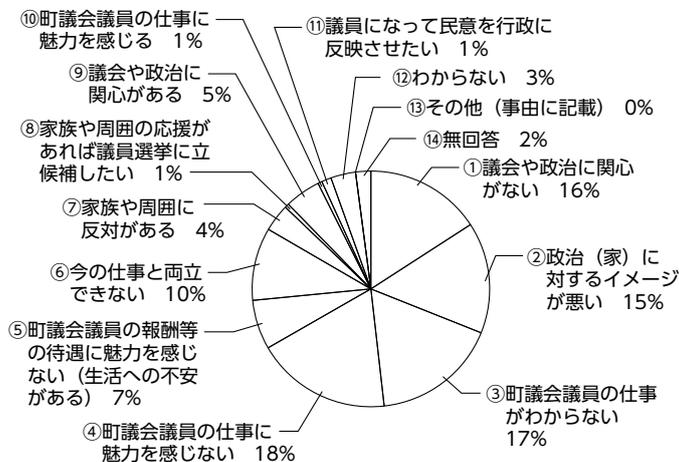
	1. 男性	2. 女性	3. その他	4. 無回答	回答数	率
① 議員に関心が無い	61	77		1	139	46.6%
② 議員（報酬等含み）に魅力が無い	45	47		1	93	31.2%
③ わからない	15	31			46	15.4%
④ その他	5	9			14	4.7%
⑤ 無回答	3	3			6	2.0%
合計	129	167	0	2	298	100.0%

【問15】あなたは、今後、町議会議員選挙に立候補したいと思われますか。



	1. 男性	2. 女性	3. その他	4. 無回答	回答数	率
① 思わない	77	117		1	195	79.3%
② あまり思わない	11	5		1	17	6.9%
③ 少しは思う	6	3			9	3.7%
④ 思う	2				2	0.8%
⑤ 無回答	11	12			23	9.3%
合計	107	137	0	2	246	100.0%

【問16】あなたの考えに当てはまるものに☑チェックまたは、○をつけてください。(複数回答可)



	1. 男性	2. 女性	3. その他	4. 無回答	回答数	率
① 議会や政治に関心がない	27	57			84	15.8%
② 政治(家)に対するイメージが悪い	33	48			81	15.3%
③ 町議会議員の仕事がわからない	29	62			91	17.1%
④ 町議会議員の仕事に魅力を感じない	48	50			98	18.5%
⑤ 町議会議員の報酬等の待遇に魅力を感じない(生活への不安がある)	20	16			36	6.8%
⑥ 今の仕事と両立できない	30	23			53	10.0%
⑦ 家族や周囲に反対がある	12	8			20	3.8%
⑧ 家族や周囲の応援があれば議員選挙に立候補したい		3			3	0.6%
⑨ 議会や政治に関心がある	17	9			26	4.9%
⑩ 町議会議員の仕事に魅力を感じる	2	1			3	0.6%
⑪ 議員になって民意を行政に反映させたい	4	3			7	1.3%
⑫ わからない	6	12			18	3.4%
⑬ その他(事由に記載)					0	0.0%
⑭ 無回答	9	2			11	2.1%
合計	237	294	0	0	531	100.0%

町民の声

敬称略

人のご縁

私は八橋のお寺で住職をしています。修行先から鳥取に戻ってきて10年、先代から引き継いで5年。ようやく僧侶として住職として慣れてきたところです。

この10年でお寺を取り巻く環境も大きく変わったように感じます。

例えば葬儀は自宅で行われることはほぼなくなり葬祭業者さんの会館で、また法事も親族を多く呼ぶことなくご家族のみで行われることが多くなってきました。

さらに昨今の新型コロナウイルス感染症の世界的流行により、環境の変化が今後ますます進んでいくと予想されます。先述の仏事だけでなく、毎年執り行われる各種行事等もいわゆる「新しい生活様式」に則ったかたちで行わざるを得ない状況となるでしょう。今は仕方がないことだ、と頭では理解しつつもやはり不安と寂しさを感じます。

インターネットやSNSの発達により、「リモート〇〇」のようにその場に居合わせる必要がない便利なものはたくさんありますし、特に今の新型コロナウイルスが危惧されるような状況では有効活用すべきなのでしょう。ですがお寺に限らず、どの職業職種であっても直接的な人と人の繋がりが希薄になっては成立しないものも多くあります。

また若い世代でコミュニケーション能力の低下が指摘されている中、他者と会って話をするのが苦手な人が増えるといったことにもなりかねません。そうならないためにも「人のぬくもり」や「人のご縁」を忘れないことがこれからの社会を生きていく上でさらに必要だと思います。そしてこの先の未来を支える子どもたちにも、人を想う「心」を育んでもらいたいものです。



いしざし えいげん
石指 瑛絃

コロナ禍に思う

全国的に見てもものすごい速さでの給付金交付、ありがたく思います。

依然コロナ禍にあり、緊急事態宣言は解除され、町内、県内での感染拡大はなかったものの、それまでの生活とはこれからも同じにはならないのかもしれない、と感じながら生活をしています。今回、学校や人によっては職場が休みになり、さらには不要な外出を自粛しなければならないような環境となりました。

そんな中、インターネットを使った子どもたちの学習方法、オンライン上でのコミュニケーションを経験することができました。私の働く職場でも、オンライン会議システムを使用した面会を行うなどの取り組みも行われました。こういったことはこのような局面にしなければ経験することもなかった人もいないのでしょうか。実際に会うのとはもちろん違うけど、顔は見て話せるし、中々いいもののように思えます。

けれど、インターネットや、それを使う端末の操作が苦手な方、ゲーム依存やネット依存などの言葉でいい印象がなく、距離を置いている人もいるかもしれませんね。便利な反面、使いこなさなければ危険なことは確かですから。でも、それは火や薬も同じことですよ。

人類はこれまでも何度もウイルスの猛威に脅かされ、闘い抜いて生きてきました。日常や、常識も見直しをし、その時代の文明のできる範囲で、状況に合わせて生活のスタイルに変化しつつ、さらに発展をもしてきたのだと思います。これからは、様々なツールを使用して、人と人が離れていてもそれを感じさせないような世の中になっていくような気がしています。



田中 みか

表紙写真

撮影地 一向平キャンプ場
撮影者 高間 史憲氏(鳥取市)

議員	前田 敬孝
委員	福本まり子
委員	澤田 豊秋
委員	高塚 勝
副委員長	押本 昌幸
委員長	角勝 計介

議会広報常任委員会

我々も頑張る、その気持ちを後押しするだけの希望ある施策を、国にも自治体にも求める。
いつのときでも、最前線、矢面に立つのは町民である。

(計介)

あとがき

